



## 子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 2315

外はまだまだ寒さの厳しい日が続き、寒さが肌にしみますね。でも日中の陽ざしは、とても暖かく春を感じます。そろそろ雪の時季も終わりを迎えてきますね。

2月のにこにこ学級では、豆まきと雪遊びを行いました。豆まきでは、自分でかぶるお面を作り、お面作りが終わってからみんなで豆まきをしました。元気に「鬼は～そと・福は～うち～」と親子で鬼を退治していました。

2月6日と20日には丈夫な体作りも兼ねて、親子で雪遊びを行いました。6日は、雪に慣れようと言うことでみなる横の雪山でそり滑りをしたり、木の下まで歩いて行きスコップで穴を掘り松ぼっくりを取って遊びました。20日は、親子で雪中ゲーム大会を行い、氷を使ったカーリングゲームや雪の中に埋まっている物を見つける宝探しゲームなどをして楽しく過ごしました。

2月13日の親子遊びの広場でも幾寅保育所園庭で、雪遊びを楽しみました。回数を重ねるごとに子ども達は、雪にも慣れ子どもの腰まで埋まるほど降り積もった雪の中を小さい体で一杯、わっさわっさと入って行き、雪の感触を楽しんでいました。

冬は、子どもの心身の発達・成長にとって絶好の環境だと思います。

私たちが子どもの頃は、雪遊びを毎日のようにしていたものですが、今は、雪遊びをしているお子さんが少ないように思います。遊べる場所が少ないのも現状ですが、冬の間、天気良くてもずっと家の中で過ごすのは、かえって体力も落ちると同時に免疫力も低下していき、風邪などの病気にかかりやすくなります。冬の間にとれだけ外に出て、体を動かしたかどうかで、この1年間に病気になりやすいかが決まると言ってもいいでしょう。せっかく雪の時季が味わえる地域にいるのですから、「寒い～寒い～」と言わず、天気の良い日にはお子さんの体調に注意しながら お父さんやお母さんも一緒に適度に外に出て雪遊びをし、暖かい季節にまた元気に遊べるように、この冬、丈夫な体作りをしましょう。

## 保育所の元気な子ども達

2月1日、幾寅・金山両保育所で豆まき会を行いました。子ども達は、自分で作った鬼の面をつけて、ますを持ち豆まきの歌を歌ったり、豆まきが始まった由来について話を聞き、鬼落としゲームや鬼の玉入れゲームなど鬼にちなんだ遊びを行いました。最後には、年長の子も達がかみしもを着けて豆をまき、小さい子ども達は豆を拾う役になって、全員で豆まきを楽しみました。子ども達は拾った豆を「おいしいね。」と言いながら、笑顔で食べていました。

幾寅保育所



金山保育所

